

令和元年度行政評価 事務事業評価シート(平成30年度実績)

事務事業コード	060302040	予算コード	01039800	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B		
事務事業名	排水施設管理事業	正規職員数	1.9	国庫支出金	0	有効性	A	今後の雨水整備に伴い、既設水路から雨水管への取り込み箇所が増加でスクリーン設置数も増え、維持管理の重要性がさらに高くなる。浸水対策用雨水ポンプについては、維持管理を適正に行い、浸水防除に努める必要がある。			
担当課	経営総務課	嘱託職員数	0	府支出金	0	効率性	B				
根拠法令等	市単独事業	臨時職員数	0	市債	0	妥当性	A				
		歳出(千円)		その他	3	受益者負担	該当なし				
		人件費総額	16,765	一般財源	59,435						
				減価償却費	0	事業費	42,673				
事務事業類型	施設管理事業	フルコスト(千円)	59,438	緊急性	C	事務事業実施内容					
実施手法	全部委託	市民1人当たりコスト(円)	591	活動指標	H30実績	公的関与	A			し渣(ゴミ)と沈砂の収集を行う事により、浸水防除に努めた。また、大阪湾へのゴミの流出を抑える事により公共用水域の水質保全に努めた。	
対象											
その他	対象数			し渣(ゴミ)と沈砂の収集と処分量	288.2	実施主体・委託化	D				
スクリーンは市内一円に設置(100箇所)				管理する浸水対策用ポンプ台数	12.0						
事業の内容						他の事務事業との関連	A				
①市内一円スクリーン清掃業務 水路の通水阻害とならないよう、適宜スクリーン清掃を行う。						成果指標	H30実績	透明性	B		
②浸水対策用ポンプ点検業務 雨水が未整備で過去に浸水が集中して発生したため、その対策として、浸水対策用雨水ポンプを設置。降雨時に適正に稼動するよう定期的に保守点検(5回/年 8箇所12台)している。											
③円田川排水ポンプ設備維持管理業務 施設が適正に稼動するよう定期点検を実施。ゴミを当ポンプ場で引き上げ処分する。						適正に稼動する浸水対策用ポンプ台数	12.0	財政健全化計画	該当なし		
事業の目的								財政健全化の取組	該当なし		
①水路の溢水防止や家屋の浸水防止とのための施設の適正な管理						コスト指標	H30実績	改革改善プラン達成度	該当なし		
②円田川環境美化の推進とための施設の適正な管理						し渣(ゴミ)と沈砂の処分量当り経費	199,160.0				
						管理する浸水対策用ポンプ台数当り事業費	170,014.0				